

令和元年度 第2回学校協議会 会議録

1 日 時 令和元年12月12日(木) 18時30分～19時30分

2 場 所 産業高校会議室

3 出席者

(1) 学校協議会委員(50音順 敬称略)

産業高等学校元PTA会長 池内 美智子

産業高等学校同窓会副会長 北野 好美

産業高等学校PTA会長 澤 薫司

JFE継手株式会社 信貴 政則

岸和田市立中学校校長会会長 高橋 一禎

(2) 学校

校長 楠戸 啓之

全日制教頭(司会) 大西 敦子

定時制教頭 榎本 正広

事務長(記録) 小林 大樹

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 本校の人権教育の取組みについて

○全日制的取組みについて 大西教頭

○定時制的取組みについて 榎本教頭

○質疑応答

(委員) 保護者にとっても難しい話であり、あまり家庭でも話題にしない。

以前は、人権に関することには触れないような風潮であったが、現在はしっかりとそれらの内容を正しく理解できるように教育する方向になっている。

(事務局) ネット環境の普及により、誰もが簡単に様々な情報を知ることができるようになり、知らないことにより問題を引き起こすケースが増えてきている。

(委員) 人権問題の一つとして、最近ではハラスメントに関する教育は各企業等でも進んでいる。

(委員) 中学校での教育については、各校によって差があるのは確かである。岸和田の生徒は他市に比べて問題が多いと聞いている。生徒に実感させることが難しい。

(委員) 我々も気を付けているのは、父母の生まれは聞かない、どのような本を読んでいるのかも面接等では聞いてはいけないことになっている。

- (委員) 地域でも人権研修は行っているが、あまり来ていただけないのが現状である。
- (委員) 学校の教育では、どのあたりまで掘り下げて研修しているのか。
- (事務局) 新聞記事などを題材に歴史的な背景を教えている。生徒に教えるときにはどこまで伝えればよいか非常に難しい。
- (委員) 授業での生徒の反応はどのようなものか。
- (事務局) ある程度正しく理解はしているが、感想文などを見ると「知らなければ差別が起こらないのではないか」等の意見もある。そのような生徒には、個別に教育し、正しい理解を求めている。
- (委員) 人権教育については、大阪は特に熱心に行われている。新入社員は必ず研修会に参加するようになっている。
- (事務局) 自主テキストも3～4年前に改編している。人権教育もどんどん進んでいる。我々も日々研修を積む必要があると感じている。
- (委員) 今年度の教員研修の重点箇所はやはりハラスメント関係なのか。
- (事務局) 我々もできる限り職場の環境を良くしたいですし、それが生徒への教育にも良い影響をもたらすと考えている。また、毎年テーマを決めて研修している。昨年はLGBT、今年はハラスメントについて研修を行った。
- (委員) ハラスメント等について、学校での相談窓口は設置しているのか。
- (事務局) 生徒には、年度当初の「学習のしおり」や学期ごとに相談窓口の案内を行っている。また、職員室にも掲示している。
- (委員) LGBTについて、学校で対応していることは何かあるか。
- (事務局) 研修会を行ったり、アンケートで男女別の記載があったものを、男女の記載が必要でないものについては削除したり、必要な場合でも「答えたくない」という項目を追加している。また、生徒名簿についても、現在は男子が前、女子が後ろの順で並んでいるが、次年度からは男女混合名簿とするよう準備を進めている。
- (事務局) 定時制については、生徒数が少ないため、男女を記載すると個人を特定できてしまう場合があるので、以前から記載させていない。生徒名簿も男女混合名簿であり、体育の授業も一緒に受けている。
- (委員) LGBTはAB型と同じぐらいの割合(7～8%)でいるということだが、そのことを打ち明けられない人がまだまだ多い。したがって、十分な知識を習得して、人と接する必要がある。

※次回は3月下旬開催予定。開始時間は18時30分を予定。

19時30分 終了